

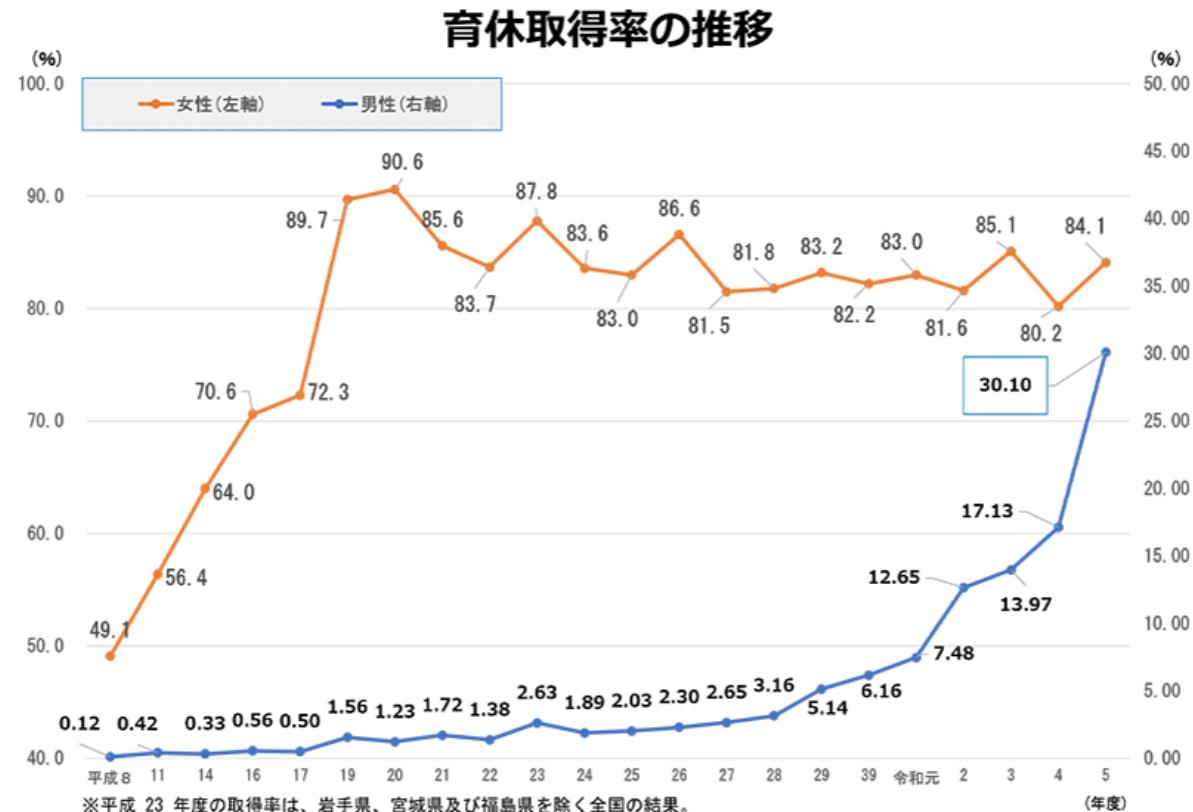
# 男性育児休暇を 広めるためには？

～取るだけじゃ意味がない。本当の育休を考える～

## このテーマにしたきっかけ

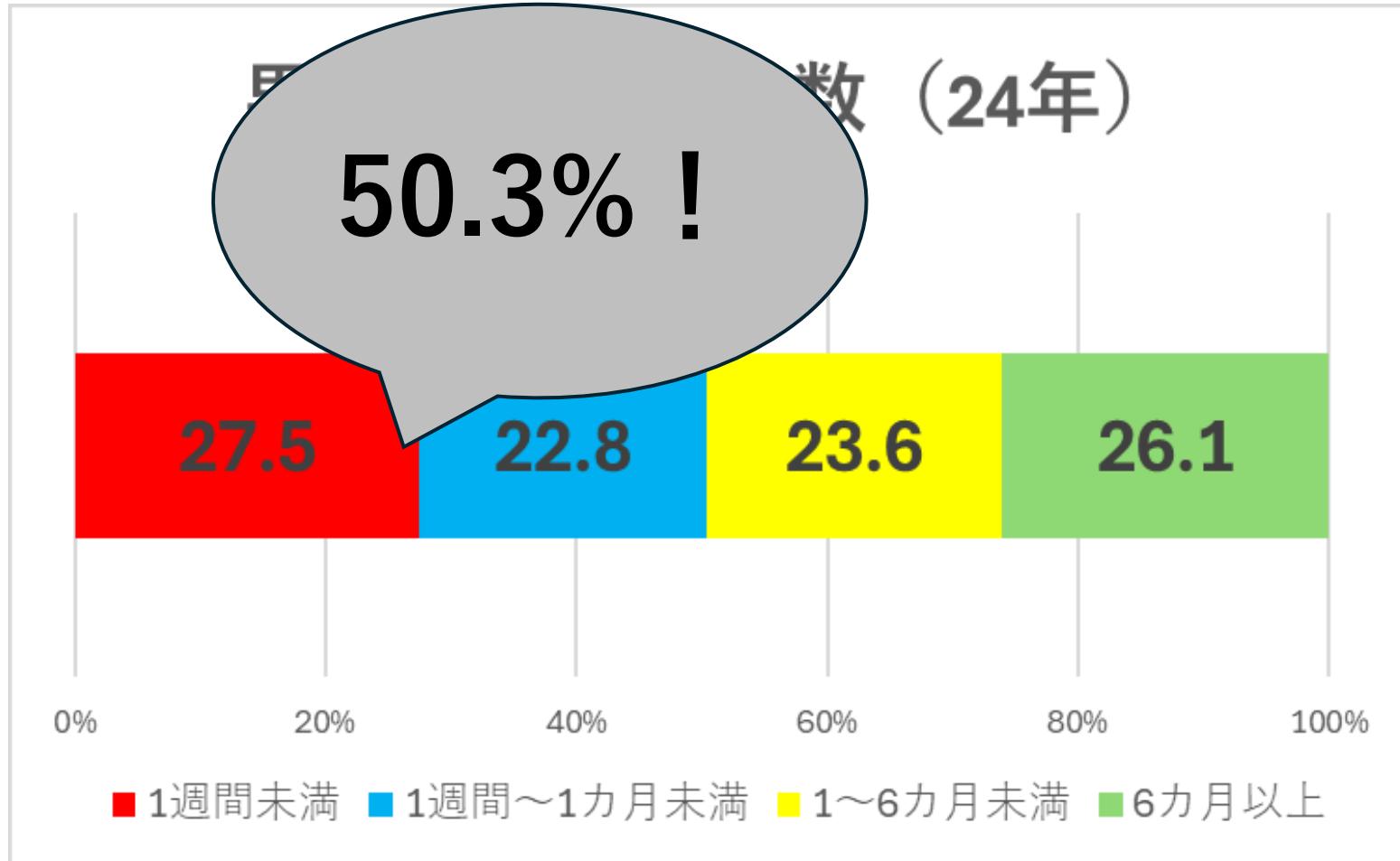
- ・ジェンダー平等実現のため
- ・少子化対策にもつながると考えたため。

# 取得率の推移について



男性の育児休暇取得率は令和6年度で**40.5%**にまでなった。

# 取得日数が短い



約半分が  
「1週間または1週間～1ヶ月未満」と答えている。



これで本当に育児に参加できているといえるだろうか？

# インタビューした方の事例紹介



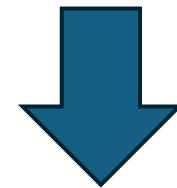
- ・夫が家事育児に無関心で逆に迷惑。
- ・夫が仕事の都合で出産直後に育休を取れなかった。
- ・育休を取りたいが、出世に影響するかもしれないジレンマを抱え、取らなかった。

# 男性育休啓発動画を作成

- なぜ高校生に向けた動画か？



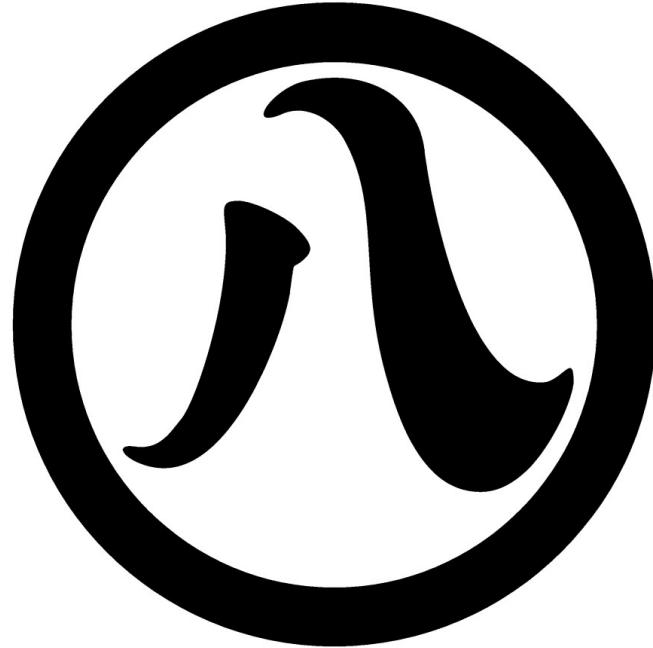
男性育休取得の理解促進のために、「子育て学」を必須科目とすることを提案するとの記述から…



自分が動画という形で、高校生に向けて啓発活動をしてみたいと思った！！

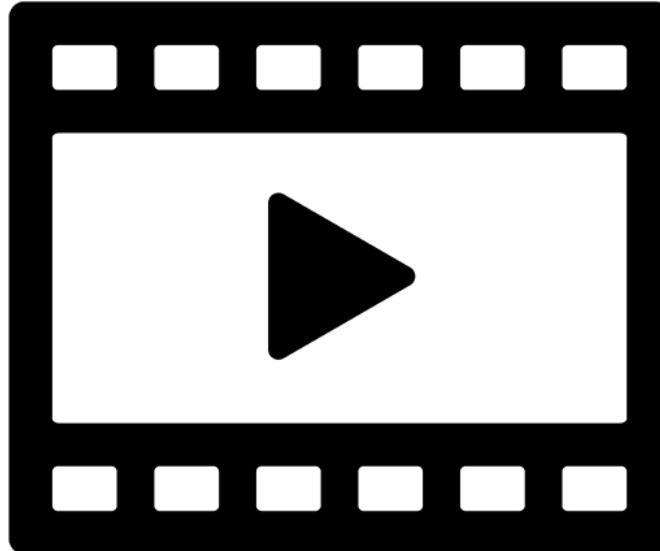
# NPO法人育Qひろばさんのイベントに参加！





**名古屋市への提案3つ**

# 名古屋市への提案1つ目



- ・名古屋市としてこうした動画作成事業をやり、その動画をHPに載せたり、学校の授業等で流したり、企業の方に提供したりすることで、男性育休に関する教育を施していただきたい。

# 名古屋市への提案2つ目



- この動画を使って、市役所で僕にワークショップをやらせていただきたい。

男性育休を取ったとしても、十分に子育てに関わっていない事例を紹介し、それを解決するために社会はどうあるべきなのか、その社会を実現するために自分たちができるることは何かを考える。また自分たちが社会人になった時に、育休をしっかり意味があるように活用すること、同じ職場の人が育休を取ることになった時は、しっかりと快く受けいれてあげよう。

というようなことなどを啓発する参加型ワークショップを行います。

# 名古屋市への提案 3つ目



- 育Qひろばに限ったことではないが、このような相談できるNPO法人（コミュニティ）があるのだということを、きずなネットで紹介してほしい。



子育てする人にとって相談できる人がいるというだけで、心の支えになるということも学んだ。

このプロジェクトに協力してくださった  
方々を紹介します。



NPO法人育Qひろばの方々

このプロジェクトに協力してくださった  
方々を紹介します。

- 名古屋市議会議員
- 名古屋市子ども青少年局子育て支援課